

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月5日

上場会社名 株式会社アーク 上場取引所 東
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 康夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 河本 俊之 TEL 06-6260-1040
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	10,693	△11.1	107	△68.8	19	△93.4	△131	ー
27年3月期第1四半期	12,027	△13.4	344	△32.9	304	△43.7	280	△0.1

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △367百万円 (ー%) 27年3月期第1四半期 33百万円 (△97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△0.37	ー
27年3月期第1四半期	2.54	0.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	40,692	28,346	69.6	53.99
27年3月期	43,196	29,503	67.0	55.82

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 28,339百万円 27年3月期 28,951百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
28年3月期	ー				
28年3月期(予想)		0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	△6.5	3,000	6.6	2,800	14.3	1,900	△13.5	5.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	338,657,431株	27年3月期	338,657,431株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	4,743,866株	27年3月期	4,743,866株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	333,913,565株	27年3月期1Q	63,357,726株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国経済においては回復基調が続き堅調に推移し、欧州経済においても穏やかな回復が持続しました。一方、中国を含む新興国においては景気が緩やかに減速し、総じて弱い動きとなりました。国内経済においては雇用・所得環境の改善や原油安が消費にプラスし、全体としては緩やかな回復基調で推移いたしました。このような状況のもと、2018年3月期までの中期経営計画を掲げ①事業基盤が脆弱な子会社の収益改善の強化、②強みを活かした成長戦略で事業拡大、を重点項目として活動しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、欧州の自動車案件の延期及びアジアの主要顧客の一部開発遅れ等による受注低迷の結果減収となり、売上高は10,693百万円(前年同四半期比11.1%減)、営業利益は107百万円(前年同四半期比68.8%減)となりました。さらに、為替はユーロに対し円高となり、為替差損91百万円を計上した結果、経常利益は19百万円(前年同四半期比93.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は131百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期当期純利益280百万円)となりました。

なお、前連結会計年度に欧州の連結子会社の事業部門の一部を売却しておりますので、比較障害を除くと以下の通りであります。(下記表中の「差引」欄の各金額は、当第1四半期連結累計期間末に含まれる事業部門の売上高及び営業利益の合計金額を示しております。)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)			当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)		
	連結損益 計算書	内、当第1四半期 連結累計期間末ま でに除外した事業 部門	差引	連結損益 計算書	内、当第1四半期 連結累計期間末ま でに除外した事業 部門	差引
売上高 (百万円)	12,027	885	11,141	10,693	—	10,693
営業利益 (百万円)	344	23	321	107	—	107

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①オートモーティブ事業

オートモーティブ事業におきましては、国内では、輸出企業は好調に推移しているものの開発投資はまだまだ模様を呈しており、その中で当第1四半期連結累計期間は灯体領域が大きく伸長し増収増益になりました。一方、海外では、欧州は大型案件の延期の影響で受注が低迷し、アジアではタイ国内の新車販売の低迷が響き低調に推移しました。これらの結果、売上高5,989百万円(前年同四半期比0.1%減)、営業利益377百万円(前年同四半期比12.1%増)となりました。なお、当第1四半期連結累計期間末までに売却により除外された事業部門の影響はありません。

②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業におきましては、ドイツでの派遣法の改正に伴い、請負型案件の増加及び大型化が進んだ事による価格競争の激化により低調に推移しました。これらの結果、売上高2,778百万円(前年同四半期比22.7%増)、営業損失112百万円(前年同四半期は営業損失47百万円)となりました。なお、当第1四半期連結累計期間末までに除外した事業部門の影響を除くと、売上高は前年四半期比2.5%増、営業利益は前年同四半期比42百万円減となりました。

③コンシューマー事業

コンシューマー事業におきましては、国内では、アミューズメントメーカーの新台開発の遅れ等により、業界の低迷が続き減収減益になりました。一方、海外では、欧州において試作事業が堅調に推移したものの、アジアにおいては主要顧客の開発の遅れにより低調に推移しました。これらの結果、売上高2,054百万円(前年同四半期比17.7%減)、営業利益121百万円(前年同四半期比51.4%減)となりました。なお、当第1四半期連結累計期間末までに売却により除外された事業部門の影響はありません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は40,692百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,504百万円減少致しました。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べて2,225百万円減少し、27,178百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,073百万円、受取手形及び売掛金が677百万円及び電子記録債権が481百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ279百万円減少し、13,513百万円となりました。これは主に、有形固定資産が285百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1,346百万円減少し、12,346百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が200百万円、未払法人税等が192百万円、前受金が455百万円及びその他の流動負債が324百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,157百万円減少し、28,346百万円となりました。これは主に、非支配株主持分が552百万円、資本剰余金が255百万円及び為替換算調整が252百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月8日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が255百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,509	10,436
受取手形及び売掛金	12,848	12,171
電子記録債権	1,246	764
商品及び製品	295	308
仕掛品	735	818
原材料及び貯蔵品	837	803
繰延税金資産	478	395
その他	1,694	1,685
貸倒引当金	△242	△207
流動資産合計	29,403	27,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,514	6,496
減価償却累計額	△3,762	△3,798
建物及び構築物(純額)	2,751	2,697
機械装置及び運搬具	9,887	10,120
減価償却累計額	△5,806	△5,768
機械装置及び運搬具(純額)	4,080	4,351
工具、器具及び備品	3,152	3,223
減価償却累計額	△2,173	△2,245
工具、器具及び備品(純額)	978	978
土地	1,917	1,922
建設仮勘定	714	207
有形固定資産合計	10,442	10,157
無形固定資産		
のれん	1,101	1,075
その他	525	538
無形固定資産合計	1,627	1,614
投資その他の資産		
投資有価証券	1,170	1,195
長期貸付金	28	26
繰延税金資産	72	92
その他	477	454
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	1,723	1,742
固定資産合計	13,792	13,513
資産合計	43,196	40,692

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,863	3,663
短期借入金	4	25
1年内返済予定の長期借入金	106	62
リース債務	165	153
未払金	688	700
未払法人税等	575	383
未払費用	1,146	1,100
前受金	2,828	2,373
賞与引当金	711	620
その他の引当金	49	9
その他	1,617	1,292
流動負債合計	11,757	10,385
固定負債		
長期借入金	30	21
リース債務	292	238
繰延税金負債	1,288	1,379
再評価に係る繰延税金負債	13	13
退職給付に係る負債	176	171
その他の引当金	130	135
その他	2	1
固定負債合計	1,934	1,960
負債合計	13,692	12,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	11,908	11,652
利益剰余金	13,586	13,454
自己株式	△9	△9
株主資本合計	27,485	27,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	138
土地再評価差額金	△160	△160
為替換算調整勘定	1,517	1,264
その他の包括利益累計額合計	1,466	1,242
新株予約権	—	6
非支配株主持分	552	—
純資産合計	29,503	28,346
負債純資産合計	43,196	40,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	12,027	10,693
売上原価	9,775	8,484
売上総利益	2,252	2,208
販売費及び一般管理費	1,907	2,100
営業利益	344	107
営業外収益		
受取利息	5	4
持分法による投資利益	30	14
その他	25	14
営業外収益合計	62	34
営業外費用		
支払利息	34	8
為替差損	51	91
その他	16	21
営業外費用合計	102	121
経常利益	304	19
特別利益		
固定資産売却益	29	20
投資有価証券売却益	74	—
特別利益合計	104	20
特別損失		
固定資産除売却損	20	1
その他	3	—
特別損失合計	24	1
税金等調整前四半期純利益	383	39
法人税、住民税及び事業税	94	53
法人税等調整額	△0	131
法人税等合計	93	184
四半期純利益又は四半期純損失(△)	290	△145
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△13
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	280	△131

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	290	△145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	28
為替換算調整勘定	△217	△253
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	2
その他の包括利益合計	△256	△222
四半期包括利益	33	△367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37	△356
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,987	3,595	2,444	12,027	—	12,027
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9	—	52	62	△62	—
計	5,997	3,595	2,497	12,089	△62	12,027
セグメント利益 又は損失(△)	336	△47	250	539	△194	344

(注) 1. セグメント利益の調整額△194百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△197百万円、セグメント間取引消去による発生額3百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計 上額(注) 2
	オートモー ティブ事業	エンジニア リング事業	コンシュー マー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,926	2,777	1,988	10,693	—	10,693
セグメント間の内部 売上高又は振替高	62	1	65	129	△129	—
計	5,989	2,778	2,054	10,822	△129	10,693
セグメント利益 又は損失(△)	377	△112	121	386	△278	107

(注) 1. セグメント利益の調整額△278百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△285百万円、セグメント間取引消去による発生額6百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

一部事業体制の見直しにより、前第3四半期連結累計期間より、従来「オートモーティブ事業」セグメントに含まれていた解析事業等を「エンジニアリング事業」セグメントに含めております。

前第1四半期連結累計期間のセグメントについては、当該事象による変更を反映したものに組み替えて開示しております。